

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスウサギ				公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・利用者数が多い際は過ごす教室を分けている	・利用者の人数や特性に応じて安全に過ごせるスペースの確保に努める	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・適切である	・職員の加配が可能であれば、活動の幅がさらに広がりそうである	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・教室の環境は整備されている。職員の配慮のもと安全を確保しているが、施設全体としてバリアフリー化は十分なされていない。	・バリアフリー化は行われていない。危険箇所がないか再度確認していき、環境改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日清掃と整理整頓を行っている	・引き続き心地よく過ごせるように環境作り、清潔保持に努める	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・利用者の体調や状態に応じて個室の使用を勧めている	・引き続き必要に応じて勧める	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・毎月拠点において会議を行い、業務改善のために情報交換をしている	・常勤職員のキャリアパスを策定し、PDCAサイクルを用いて業務の改善を図っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者へのアンケートを実施し、結果を業務の見直しのために利用している	・会議等において周知され、共通理解を図っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・職員へのアンケートを実施し、結果を業務の見直しのために利用している	・会議等において周知され、共通理解を図っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・現状実施していない	・必要に応じて実施を検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・内部研修の実施をしている	・外部研修に積極的に参加し、職員の資質向上を図っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・適切である	・引き続き事前にアセスメントを実施し、計画策定を行う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・打合せで情報共有し、内容の確認及び検討を行っている	・継続的に実施する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・職員の間で情報共有し、それに基づき支援を行っている	・継続的に実施する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインを基に、こどもの様子に合わせて課題や支援内容を決定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・利用状況を踏まえて職員間で話し、活動内容を決定している	・継続的に実施する	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・活動や遊びを選べるように提供している	・継続的に実施する	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・適切である	・継続的に実施する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	・打ち合わせという形態ではないが、その日の過ごし方や役割分担の確認を事前に行っている	・今後も職員の間で密に情報共有を行い、利用者が安心して過ごせる様に支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・毎日ではないが、その日気になったことや変わった様子等は職員間で意識的に共有している	・大切な案件に関しては月1回の打ち合わせの場で情報共有を行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・利用時の利用者の様子や、連絡ノートの保護者からの状態の引継ぎなど、日々記録をとり、振り返りを行っている	・日々記録を基に、中間振り返りと年度末の振り返りへ繋げる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・中間振り返りと年度末の振り返りを行い、計画の見直しを実施している	・定期的な見直しを行い、支援の質の向上に努める
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・個別支援計画を作成し、それに基づき支援を行っている	・継続的に実施する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・活動や遊びを選べるように提供している	・自己選択できるように、こどもの様子に合わせて選択の提示方法を工夫する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が参加している	・必要に応じてその他職員も参加できるように配慮している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・必要に応じて情報共有、連携に努めている	・引き続き、情報共有と連携に努める
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・月末までに翌月の利用状況を各学校と共有している ・月初めには学校から行事予定や下校時刻が掲載されたお便りをいただいている	・送迎時に特別な配慮が必要な児童について、対応方法を学校側と協議し決定をする
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・必要に応じて情報共有、連携に努めている	・必要に応じて連絡を取り合い、事前に情報を得て職員間で共有に努める
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・必要に応じて情報提供を行っている	・事前に移行先へ引継ぎを行い、円滑に移行ができるように努める
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・児童発達支援センターは併設され、連携している。	・併設の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じて相談を受け付けたり、支援に繋げる
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	日々の活動の中で他施設との児童との交流機会を設けることは難しく、現状行っていない。	・ご要望があれば実施を検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・担当者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡ノートにて情報共有している ・降所時に活動内容や様子をお伝えしている	・引き続き保護者と密に連絡を取り合い、共通理解に努める
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・現状実施をしていない	・ご要望があれば実施を検討する
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・利用開始前に重要事項の説明を行っている	・利用中にも問い合わせがあれば随時説明を行う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・年度の初めに家族へ向けて意向調査のアンケートを配布している	・意向調査のアンケートだけでなく、必要に応じて直接お話ができるような機会を設ける
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・内容の確認をしていただいてから同意を得ている	・同意を得た支援内容を職員で共有し、支援に繋げる
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・適切に対応し、可能な限り支援している	・その都度相談に応じ支援を行う

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・現状実施をしていない	・ご要望があれば実施を検討する
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・法人内で苦情対応の体制を整え、迅速、適切に対応している。	・苦情対応の責任者に報告し、その指示のもと、記録を残し、職員間で情報共有しながら対応を行う
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・法人機関紙「嬉泉新聞」、嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦発行の「うたのひ」を定期発行し、各ご家庭に配布している。	・引き続き定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報の発信を行う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・書類の取り扱いについては内部研修にて職員に周知、共有されている	・引き続き内部研修を行い、職員間での共有に努める
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・連絡ノートのやりとりや、来降所時の引継ぎ、個別の電話連絡など情報共有に努めている	・各々のご家庭に合わせた方法で情報共有を行う
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・現状十分な実施はできていない。 ・地域の福祉フェスタへ袖ヶ浦事業所全体として参加している。	・地域交流を目的とした催し物を検討している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種マニュアルを策定し、職員間で周知している	・閲覧可能なかたちで施設の玄関に設置している。 ・保護者への周知については現状十分に実施できておらず、検討していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・災害・火災を想定した避難訓練を年間2回実施し、誘導時の動きや各職員の役割・連携、避難経路の確認に努めている	・定期的にマニュアルの見直し、改定を実施する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・事前に保護者へ確認し、職員の間で情報共有に努めている	・変更あれば、都度職員間で共有を行う
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・医師の指示書をもとに、空間を分けて、通常食と混ざらないようにおやつを提供している	・提供前に職員の間で確認を行い、誤食が起らないようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画は内部研修において職員間の共有が行われている	・関連する外部研修にも参加し、職員の資質向上に努める
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全確保のための取り組みについて機関紙を通じて各ご家庭にも周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・日々利用者帰宅後の時間でヒヤリハット記録を作成している ・毎月の事例をまとめ、打ち合わせの場で全体共有をしている	・拠点内で事故防止の委員会を設け、事例を分析し、支援に反映するための体制を整えている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・法人内、及び袖ヶ浦拠点内での対応の体制を整えている。 ・虐待防止や人権擁護に関する内部研修を実施し、職員の倫理観の向上に努めている	・関連する外部研修にも参加し、職員の資質向上に努めている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・法人内、及び袖ヶ浦拠点内での対応の体制を整えている ・身体拘束の取り扱いや実施に際しての手続きについては、内部研修において職員間の共有が行われている	・該当ケースがあれば医師等の指示のもと対応する用意がある	